

令和6年度

これからの子育て支援

～安心して子育てができるまちを目指して～

少子化が進む中、自治体は子育てをめぐる様々な課題に直面し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の体制を確保することが求められています。

この研修では、地域における子育て支援の現状や課題を把握し、先進事例等を通じて、すべての子どもや子育て家庭が安心して豊かに暮らせるまちづくりの実現を目指した子育て支援について考えます。

研修のポイント

- 子育て支援制度の変遷を学び、地域の実情に応じた子育て支援施策を展開するために必要な知識や手法等を学ぶ
- 妊娠期から子育て期までの様々なニーズに対応して、今後さらに強化が求められる「こども家庭センター」や「産前・産後サポート」について理解する
- 事例紹介を通じて自らの自治体に必要な支援事業のヒントを得る

開催要領

日 程

令和6年7月1日(月)～7月3日(水) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

少子化対策、子育て支援業務に携わる市町村の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
 ※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申込みください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

11,750円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和6年5月20日(月)まで

申込方法

JAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和6年
7月
1日(月)

- 11:00～
12:30～
13:00～14:10
- 入寮受付・昼食**
開講・オリエンテーション
講義 子育て支援施策の動向
- こども家庭庁長官官房 参事官(総合政策担当) **佐藤 勇輔 氏**
こども基本法に基づくこども大綱や、こども家庭庁が行う自治体の取組を支援する施策の内容、国の動向、今後の展開等についてお話しいただきます。
- 14:25～16:40
- 講義 これからの子育て支援を考える**
～子育て家庭を地域で支えるために～
- 淑徳大学総合福祉学部 准教授 **佐藤 まゆみ 氏**
地域における子育て支援の現状と課題、子育て家庭を地域で支えるために子育て業務に携わる自治体職員に求められる考え方、知識や能力、心構えなどについてお話しいただきます。
- 16:50～17:30
- 意見交換** こども家庭庁長官官房 参事官(総合政策担当) **佐藤 勇輔 氏**
淑徳大学総合福祉学部 准教授 **佐藤 まゆみ 氏**
受講者同士で所属自治体の現状や取組を共有し、互いの事例から今後対応策などについてヒントを得ます。講義いただく講師2名にも参加いただき、アドバイスをいただきます。
- 18:00～
- 交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和6年
7月
2日(火)

- 9:25～12:00
- 講義 妊娠期から子育て期まで包括的に子育て家庭を支援する**
- 公益社団法人母子保健推進会議 会長 **佐藤 拓代 氏**
切れ目ない支援体制や、今後子育て家庭の支援の中核を担うこども家庭センターにおける母子保健及び子育て支援と各関係機関との連携強化も含め、安心して子育てができる地域づくりについてお話しいただきます。
- 13:00～14:00
- 事例紹介 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援**
～伊達市の取組～
- 福島県伊達市こども部ニューボラ推進課 ニューボラ推進係長 **村田 桂 氏**
コーディネーター:公益社団法人母子保健推進会議 会長 **佐藤 拓代 氏**
妊娠期から子育て期にわたって安心して子育てができる環境づくりを推進し、子育てに関する様々な相談や関係機関との連携、産前・産後のサポート事業をはじめとした子育て支援施策についてご紹介いただきます。
- 14:15～15:15
- 事例紹介 子どもの居場所づくり支援～奈義町の取組～**
- 岡山県奈義町こども・長寿課 保健師 **立石 奈緒子 氏**
コーディネーター:公益社団法人母子保健推進会議 会長 **佐藤 拓代 氏**
子どもの居場所づくり支援体制の構築に向けた関係機関との連携、保護者との信頼関係の構築など、地域ぐるみで支援する子どもの居場所づくり事業をはじめとした子育て支援施策についてご紹介いただきます。
- 15:30～17:30
- 演習 持ち寄り事例による課題解決フォーラム(グループ討議)**
- 公益社団法人母子保健推進会議 会長 **佐藤 拓代 氏**
2日間の講義・事例紹介などから学んだことを踏まえて、各自の持ち寄り事例をもとに現場の課題を共有し、その対応策についてグループで討議します。
- 17:30～
- 課外演習**

令和6年
7月
3日(水)

- 9:25～14:10
- 演習 持ち寄り事例による課題解決フォーラム**
(グループ討議・発表・講評)
- 公益社団法人母子保健推進会議 会長 **佐藤 拓代 氏**
前日の討議の続き、そしてグループごとに討議した内容や課題解決に向けた取組案を発表していただき、講師より講評をいただきます。
- 14:10～14:40
- ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

本研修の他、子育て支援・母子保健部局に関する研修を開催予定です。
次のような違いがございますので、申込みにあたっての参考にしてください。詳細についてはJIAMホームページをご覧ください。

研修名	研修期間	対象職員	募集開始
当研修 これからの子育て支援 ～安心して子育てができるまち を目指して～ 【改訂】	令和6年7月1日(月)～3日(水)	少子化対策、子育て支援業務に携わる職員	4月22日
	(内容)地域における子育て支援の現状や課題を把握し、先進事例等を通じて、まちぐるみで取り組む子ども・子育て支援について考える。		
保育士・幼稚園教諭のための 保育行政	令和6年7月22日(月)～24日(水)	保育士及び幼稚園教諭(保育行政に携わる職員)	5月10日
	(内容)自治体が進める子育て支援の現状や最新の動向、今後の方向性等について学び、幼児教育・保育に係わる人材育成やこれからの保育園・幼稚園のあり方を考える。		

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。